

こども未来課通信 No. 22

2023. 6. 27

発行:長崎県こども未来



～ご対応ありがとうございました！～

5月から幼児教育センター職員3名が各市町の幼児教育・保育施設担当課・小学校所管課へのあいさつ回りを行っていましたが、おかげさまで無事に全21市町を終えることができました。担当者みなさまにおかれましては、お忙しい中に丁寧なご対応をありがとうございました。直接お会いしてご挨拶ができたこと、また、各市町の状況や課題などを伺うことができたことは今後のさらなる連携につながる大変有意義な時間となりました。早速、アドバイザーの派遣依頼が各市町の行政や保育士会、幼稚園こども園協会から届いております。園（所）単位でも承りますので、保育についてのアドバイスや園内研修など保育の質の更なる向上に向けてアドバイザーを御活用ください。まずは、ホームページから依頼書をダウンロードしてお申し込みください。



長崎県こども未来課 幼児教育センター



(幼児教育センター直通 095-895-2686)

また、幼小接続に関しても、6月30日（金）に幼保小連携推進協議会・担当者会を開催いたします。市町の福祉部局と教育委員会、幼児教育センターの方に出席していただきます。こちらも連携強化に向けた新しい一歩となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

～たくさんのご参加ありがとうございました！～

去る6月8・9日に園長等運営管理協議会が開催されました。8日は文科省幼児教育課教科調査官の平手咲子先生（右写真）、熊本大学准教授の末永祐介先生によるご講義、9日は長崎大学教育学部附属幼稚園において、保育参観、協議会を行いました。講義では幼小接続に向けた具体的な取組や、子ども自ら体を動かしたくなるような環境づくりについて新たな知見を得る良い機会となりました。

また、保育参観では「遊びの中の学び」を生み出すための環境設定、保育者の関わりの具体を見て学び、それを協議会において、参観者で共有することができました。附属幼稚園の先生方、大変お世話になりました。参加された先生方も活発な意見交換、発表をありがとうございました。



～幼児教育アドバイザー活用例～

現在、幼児教育アドバイザーの3名が、園訪問に向けて、準備を進めております。

アドバイザーの活用方法は、大きく分けて次の2種類があります。

<保育参観とアドバイス>

ふだんの保育を見せていただき、環境や保育者の関わりの良さや価値を見つけてお伝えしたり、工夫する点をアドバイスしたりします。初任者育成の一環としての保育参観などもできます。

<園内研修>

ご都合のいい時間に伺って園内で研修を行うことができます。

【例】「保育の質の向上につながる子ども理解」

「不適切保育について考えよう」

「栽培から広がる保育の可能性」

「発達段階に応じた絵本の読み聞かせ」

「保護者支援・対応について」 など

内容や時間などお気軽に御相談ください。



～幼保小連携実態調査提出をお願いいたします！～

6月1日付け「5こ未第69号」で依頼しておりました、長崎県幼保小連携実態調査（令和4年度実績分）の回答を7月7日（金）までをお願いします。現在のところ、約4割の提出率です。公立幼稚園、公立認定こども園、公私立認可保育所（地域型保育や特例保育施設は含みません。）私立幼稚園、私立認定こども園はすべて対象となっております。回答票からは、コロナ禍でも各園（所）が感染対策をしながら、小学校へ働きかけて交流をしてくださっていることがわかり、大変ありがたく思っております。今後も、なだらかな幼小接続へ向けて、交流の在り方を模索していきたいものです。新聞記事やテレビでも、コロナ禍の3年間で体験や交流活動、友達とのふれあい制限による子どもの育ちへの損失が莫大になると報道されています。そのような点でも、園（所）、小学校、市町教育委員会及び担当課、県こども未来課が一丸となって、できることを探りながら共に歩みを進めてまいりたいと思います。

（文責：こども未来課 高田 敦）

幼児教育センターより

「幼児教育って、保育所には関係ない？」そんなことはありません。

平成29年の3要領・指針の改訂（改定）で3歳以上の子どもについて内容が統一されました。「保育所は保育をするところ。幼児教育はしていない。」ということはありません。日々の保育の中でしっかりと子どもを育てています。「幼児教育」「保育」の言葉は様々な場面で使われ、場面によって少しずつ意味する範囲が違っていますが、「幼児教育」を「早期教育」や「小学校の前倒しの勉強みたいなこと」という誤解だけはしないでいただきたいと思っています。長崎県幼児教育センターは、施設の種類に関係なく、子どもを預かる施設で行われていることを3歳未満の保育も含めて支援していきます。

（副センター長 室野）